

Ryu's Paper

リュウズ ペーパー

龍華図書館
2021年1月6日
1月号(隔月発行)
Vol.21

明けましておめでとうございます。お正月はいかがお過ごしでしたか？2020年は新型コロナウイルスの影響で、色んな生活様式が変わりました。今年は皆さまが笑顔で過ごせることを心から願っています。

今月の「シリーズ 図書館でめぐる郷土」では、「弓削道鏡」についてご紹介します。悪逆無道の大悪僧として語られることが多い道鏡ですが、実際はどのような人物だったのでしょうか。

シリーズ 図書館でめぐる郷土

第二十一回 『弓削道鏡』

弓削道鏡は奈良時代末期の僧で、現在の八尾市東弓削・弓削地区にいた豪族弓削氏の出身です。若い頃に葛木山で苦行修道し、下山後は東大寺に住み、内道場に入りました。749年女帝・孝謙天皇が即位するも、政治の実権を握っていたのは母親である光明皇太后と、皇太后からの愛顧を受けていた藤原仲麻呂の二人でした。仲麻呂は、皇太后の老先が長くないことを悟ると、自分の従妹である孝謙天皇にアプローチし、2人は愛人関係となります。しかし、孝謙天皇が淳仁天皇に天皇位を譲渡し上皇となると、彼女は仲麻呂にとって利用価値のない存在となり、関係も途絶えてしまいます。孝謙上皇は心身ともに病み、その看護禅師として招かれた人こそが、道鏡だったのです。誠心誠意看病に励む道鏡の姿に好意を持ったのは、ごく自然な成り行きだったのでしょう。道鏡は孝謙天皇の病を治したことにより信頼を得て、政界に進出します。

これを面白く思わなかった仲麻呂は764年に政権を奪取しようと反乱を起こしますが失敗し、滅ぼされます。そして孝謙上皇が重祚して称徳天皇となると、道鏡とともに仏教政治を展開します。道鏡は765年に太政大臣禅師、翌年には僧侶として最高位の法王にまで昇りつめました。法王になった人物は、後にも先にも道鏡ただ一人です。

そして769年に宇佐八幡宮神託事件が起こります。道鏡を天皇にすると天下泰平になるという宇佐八幡宮の神様のお告げがあり、真偽を確かめる為に和氣清麻呂が宇佐八幡宮に派遣されました。ところが、清麻呂が持ち帰ったお告げは、道鏡の即位に反対するものでした。この事件については、道鏡自身が首謀し皇位を狙ったとする説がよく知られていますが、実際のところ首謀者は明らかになっていません。称徳天皇が道鏡即位を推進し、道鏡はそれに従ったにすぎないとみる説や、藤原氏が道鏡を失脚させるために企てたものとみる説など多くの説があります。道鏡はそれまでも、自らが積極的に官位を求めたり、私利私欲の為の行動を取ることはなく、ただ与えられた地位でその職務を真面目に遂行して、称徳天皇の恩寵に応えようとしただけだったのかもしれませんが。

そして770年、二人は由義宮に行幸へ出かけます。この40日間の行幸は称徳天皇と道鏡の最後の思い出となります。その後称徳天皇は病に伏し、同年8月に53歳で亡くなりました。道鏡は天皇の死後、天皇の陵のそばに住み、遠く離れた下野薬師寺に左遷の命令が出ると静かに従いました。そして道鏡もまた、2年後の772年、65歳で天皇の後を追うように亡くなります。

日本の歴史上の人物で、道鏡ほど二つの顔をもった人物は他にいないかもしれません。女帝をたぶらかして天皇位を奪おうとした大悪僧と、人生を女帝との恋に捧げた人間としての道鏡と。皆さんはどちらが道鏡の素顔だと思いますか？



【写真】道鏡禅師坐像
写真提供: 藪内佐斗司工房

参考資料

『孝謙・称徳天皇』2014年10月 勝浦令子/著 ミネルヴァ書房
『最後の女帝 孝謙天皇』1998年8月 滝浪貞子/著 吉川弘文館
『悪役のふるさと』1993年6月 村松友視/著 講談社
『由義寺の塔の物語』2018年3月 八尾市教育委員会

『河内どんこう no.26、53、114、115』
1988年5月、1997年10月、2018年2月、
2018年6月 やお文化協会

1 月の Topics&Information

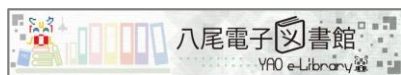


-Topics



ナクソス・ミュージック・ライブラリー

八尾電子図書館に、「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」が新しく加わりました。これは、クラシックやジャズなどが200万曲以上揃ったネット上の音楽図書館サービスです。八尾電子図書館にログインして「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」の「読む」ボタンを押すと、ホームページに移動するので、好きな曲を選んで「再生」を押せば良質な音楽を聴くことができます。ほぼ毎日、数十曲が新たに追加され、楽曲名や演奏者、楽団名などでも検索が可能。「クラシックを聴いてみたいけれど詳しくない…」という方にお勧めなのが特集ページです。コミック『のだめカンタービレ』登場曲や映画の使用曲など、多岐にわたるテーマで特集があります。ネット環境があれば、本や音楽が楽しめる八尾電子図書館。是非たくさん利用してくださいね。



【電子図書館 URL】

<https://www.d-library.jp/yao/g0101/top/>

-Information 図書館のご案内

良質なドラマ 松本清張賞

松本清張賞は、松本清張の業績を記念して1993年(平成5年)に創設された、良質な長篇エンターテインメント小説を表彰する公募の文学賞です。当初は推理小説限定の募集でしたが、第11回からエンターテインメント小説全般を募集するようになり、間口が広がりました。歴代受賞者には時代小説を多く執筆された葉室麟さんや、八咫鳥シリーズでおなじみの阿部智里さんなどがいらっしゃいます。精緻な世界観と、長編でも最後まで読者を飽きさせない力強いドラマ性を持った作品が多くあり、2020年は千葉ともさんの『震雷の人』が受賞しました。



『震雷の人』

(資料コード:710694639)

千葉ともこ/著

書の方で世を動かしたい。文官を目指しながら、信念を曲げず敵陣の刃に倒れた顔季明。彼の許嫁の采春は興行一座に身を隠し、武術を磨きながら季明の仇討ちを計った。一方、采春の兄・張永は…。ロマン香る唐代大河小説。【TRCマークより】

今月の一冊はコレ!



「ハッチとマーロウ」

(資料コード:710593310)

著: 青山七恵 / 出版: 小学館



新しい一年がスタートしました。そこで物語の中の季節も一月から始まる小説をご紹介します。主人公は双子の姉妹、ハッチとマーロウ。ある日突然、二人のママが「ママは大人を卒業します」とまさかの宣言。慣れないながら、学校生活と料理や洗濯といった家事を両立するうちに、個性や家族のあり方について考え、成長していく一年間の物語です。

愛くるしい双子姉妹が、子どもなりに深い思慮とやさしい気持ちを身に着けて大人になっていく姿は感動的で、自分も新しい気持ちでがんばろうと励まされる素敵な小説です。

編集・発行

八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45

TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057

ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね! してください。

